

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型1	①学校運営上の課題
課題の類型2	社会に開かれた教育課程への対応
課題の詳細	生徒のキャリア学習の充実に向け、各教科の学びが社会生活に繋がっていることを実感するための、地域の方と協働する活動、地域へ発信する活動や地域人材に学ぶ活動等を実施するための、学校・地域相互の理解や体制が不足している。
左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	次の人員の配置を支援し、各県立高等学校が実施する活動内容の充実を図るとともに、配置した人員が学校と地域との連絡調整や活動内容の充実等を行い、教員の業務負担軽減を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター50名 (重複を除いた実人数) ・学習支援員80名 ・協働活動支援員75名
本事業で達成する目標(アウトカム)	地域の方等の外部人材を活用することで、生徒の探究活動内容や学びを深め、活動の幅を広げる。
目標の達成度を測る指標	地域学校協働活動推進事業を実施する全県立高等学校における、1校当たりの企業からの外部講師招聘人数
現状の数値	58.3人
本年度の目標値	61.0人
本年度の実績値	54.9人
アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の充実を図ってきたことで、活動を通して、生徒の学習意欲や進路意識の向上、地域の活性化につながった学校が多かった。 ・県立高校では、学校と地域とが連携・協働する仕組みや体制が整備されにくく、地域コーディネーターをすべての実施校で教員が担っている。そのため、地域人材の発掘等に時間を要し、活動の幅を広げにくい傾向にある。 ・支援員の配置や講師の活用を支援し、学校と連携・協働する地域人材を増やすことで、教員の業務負担軽減につなげるとともに、活動の幅を広げ、活動内容の充実を一層図っていきたい。